

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 7 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

10 番議員 氏名 城處 裕二

質問題名	有害鳥獣対策（主にシカ）について
質問要旨	全国でクマによる被害が問題となっている中、多治見市においても有害鳥獣対策は必要不可欠である。こうした中、にわかに問題となっているのがシカによる獣害である。 現在、多治見市の有害鳥獣捕獲は猟友会が担っており、主に箱罠による捕獲が主流である。これは、括り罠に対して箱罠は経済性に優れることに加え、安全性の面でも信頼性が高いからである。 一方、樹皮等への食害を通じて森林荒廃に繋がるシカについては箱罠での捕獲は困難であり、現在のところシカに対する手当は無いに等しい。また、イノシシの場合、最大で2万2000円の報奨金があるのに対し、シカは8000円に留まる。シカを捕獲する場合には括り罠による他ないが、括り罠は使い捨てで1回につき5000円程度の費用を要し、現実的に現行制度下において猟友会がシカの捕獲業務を行うのは困難である。 そこで、将来の森林荒廃を未然に防ぎ、有害鳥獣被害を低減すべく、以下の質問をする。
質問項目①	多治見市の有害鳥獣被害及び捕獲の現状はいかがか。
質問項目②	シカによる被害は近隣自治体ではどうなっているか。
質問項目③	シカに対する報奨金を増額するか、もしくは括り罠に対する補助制度の検討が必要と考えるがどうか。
質問項目④	ジビエ等の活用策はないか。
質問項目⑤	ところで、多治見にクマはいるのか。
質問の相手方	経済部長